

大会プログラム

2009年11月26日(木)

18:00-

自由集会1(琉球大学瀬底研究施設講義室)

口頭発表

2009年11月27日(金)

【会場1】本部町立中央公民館大ホール

講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
1-1	9:00	サンゴ骨格中安定同位体比のモンスーン指標への応用	○島村道代(北大・理)・入野智久(北大・地球環境)・豊田和弘(北大・地球環境)・Guoquang Xu(上海同済大・理)・Bingquan Lu(上海同済大・理)・Luejiang Wang(北大・地球環境)・大場忠道(北大・地球環境)
1-2	9:15	完新世におけるサンゴ礁形成史と種多様性の変化	○本郷宙軌・茅根 創(東大・理)
1-3	9:30	LA-ICP-MSによるサンゴ骨格中の鉛含量の測定: 河川からタイ湾への鉛の流出について	○田中健太郎(琉球大・理工)・大出 茂(琉球大・理)
1-4	9:45	Fringing reefにおける赤土移流拡散・堆積・再浮上過程の数値シミュレーション解析	○前田勇司(東京工業大学)・灘岡和夫(東京工業大学)・金城孝一(沖縄県衛生環境研究所)・仲宗根一哉(沖縄県衛生環境研究所)
1-5	10:00	衛星画像を用いた石垣島轟川流域における土地被覆分類の検証	○石原光則(国立環境研所)・長谷川 均(国土館大学)・林 誠二(国立環境研究所)・山野博哉(国立環境研究所)
1-6	10:15	ユビキタスバイを用いたサンゴ礁保全のための水温観測網の構築	○和田雅昭(はこだて未来大)・畑中勝守(東農大)・吉田 隆(MICT)・戸田真志(はこだて未来大)
10:30		休憩	
1-7	10:45	泡瀬干潟埋め立て工事に伴う大規模サンゴ移植とそのモニタリング	○内村真之・山里祥二・成田龍一(NPO法人コーラル沖縄)
1-8	11:00	生分解性ネットを用いたサンゴ群集再生技術の開発	○山木克則・取違剛・横関康祐(鹿島技研)・日野林讓二(大日本プラスチック)・中野裕治(タキロンプロテック)・大葉英雄(海洋大)
1-9	11:15	電場が及ぼすサンゴ成長促進効果の実海域における検証	木原一禎(三菱重工鉄構エンジニアリング(株))・鯉淵幸生(東京大 大学院)・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)・近藤康文(株シーピーファーム)・○山本悟(日本防蝕工業(株))
1-10	11:30	電着基盤の有性生殖によるサンゴ着生(着床)効果について	○木原一禎(三菱重工鉄構エンジニアリング(株))・鯉淵幸生(東京大 大学院)・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)・近藤康文(株シーピーファーム)・山本悟(日本防蝕工業(株))
1-11	11:45	ヤイトハタにおける早期性転換誘導技術の確立	○村田良介(琉球大・理工)・狩俣洋文(沖縄水海県セ石)・中村將(琉大熱生研)
12:00		昼食	
1-12	13:00	サンゴ礁学習プログラム(Coral Reef Study)開発 修学旅行の事前・事後学習と組み合わせた実践普及	○山岸豊(有むちゅらさ)・平井和也(有ちむちゅらさ)・藤田喜久(海研)・今宮則子(海研)・中野義勝(琉大瀬底実験所)・笹淵紘平(環境省)

1-13	13:15	沖縄県のレジャーダイビングに関するダイバー行動調査	○横井謙典(沖縄県ダイビング安全対策協議会)・豊島淳子(東工大)・灘岡和夫(東工大)
1-14	13:30	座間味村におけるダイビング・ポイントの利用と珊瑚礁保全の取り組みについて	○圓田浩二(沖縄大学)
1-15	13:45	沖縄県近海離島におけるサンゴ礁保全に関する住民アンケート調査ー座間味村を事例としてー	○藤澤宜広(沖縄大・法経)
1-16	14:00	サンゴ礁保全に資する持続可能な地域づくり~石垣島白保でのWWFジャパンの取り組み~	○上村真仁(WWFジャパン)
1-17	14:15	宮古島のサンゴ礁保全に関する提案:オニヒトデ駆除とサンゴ礁保全に役立つオニヒトデ駆除の提案	○猪澤也寸志(エコガイド教育コンソーシアム)
1-18	14:30	和歌山県地域におけるサンゴ保全と経済効用の研究・序説	○齊藤久美子(和歌山大・経済)

【会場2】アジマーもとぶ

講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
1-19	9:00	南西諸島のコユビミドリイシにおける緯度と遺伝的多様性の相関、及び遺伝的分化の有無	○中島祐一・西川昭・井口亮・酒井一彦(琉球大・熱生研)
1-20	9:15	コユビミドリイシ・ゲノムプロジェクト	○新里宙也・佐藤矩行(OIST)
1-21	9:30	ミドリイシ属サンゴー斉産卵後の着生ピーク期の推定	○鈴木豪・新垣誠司・林原毅(西水研・石垣)
1-22	9:45	飼育枝状ミドリイシの分類・および繁殖について	○山本 広美・金谷 悠作・甲斐 清香・野中 正法(沖縄美ら海水族館)・磯村 尚子(沖縄高専)
1-23	10:00	ウニ類がサンゴ幼生の着生および幼ポリプの生残に及ぼす影響	佐藤 力・○大森 信(阿嘉島臨海研究所)
1-24	10:15	座間味島(沖縄県慶良間諸島)の八放サンゴの一種に確認されたシアノバクテリアの病的付着について	○山城秀之、磯村尚子(沖縄高専生物資源)
10:30		休憩	
1-25	10:45	サンゴ礁縁溝部の「ガレ場」ーベントス群集のハビタットとしての評価	○中野義勝(琉大・熱生研)・小淵正美(琉大・ライジングスター)・藤田喜久(琉大・教育センター、海の自然史研究所)
1-26	11:00	サンゴ礁「ガレ場」に生息するセソコヒメウミシダの繁殖生態	○小淵正美(琉大・ライジングスター)・藤田喜久(琉大・教育センター、海の自然史研究所)・中野義勝(琉大・熱生研)・上原剛(琉大・理)・本川達雄(東工大・生命)
1-27	11:15	沖縄島大浦湾における十脚甲殻類の種多様性	○藤田喜久(琉大/海の自然史研究所)・大澤正幸(琉大)・奥野淳兒(千葉博)・駒井智幸(千葉博)・成瀬貫(琉大)
1-28	11:30	狭空間に生息する未記載スナギンチャクの分類について	○藤井琢磨(琉球大・理工)・James D. Reimer(琉球大・亜熱帯島嶼)
1-29	11:45	マレーシアのサンゴ礁における動物プランクトン群集の生物量と生産量	○中嶋亮太(創価大・工)・吉田輝明(UKM)・BHR Othman(UKM)・戸田龍樹(創価大・工)
12:00		昼食	
1-30	13:00	ミドリイシサンゴ幼生の変態シグナル経路の地域性	○松島夏苗・服田昌之・清本正人(お茶大)・鈴木 豪・林原 毅(西海区水研石垣)・目崎拓真(黒潮研)
1-31	13:15	<i>Galaxea fascicularis</i> の組織抽出液におけるOHラジカルの光生成	○樋口富彦・藤村弘行・人見勇矢・新垣雄光・大森保(琉球大)・鈴木款(静岡大)
1-32	13:30	Polyp gastric cavity: characteristics and processes	○Agostini Sylvain, Suzuki Yoshimi, Yoshikatsu Nakano, Casareto Beatriz
1-33	13:45	トゲクサビライシ <i>Ctenactis echinata</i> のテロメア長は骨格重量(年齢)とともに減少する	○大慈彌みち子(琉球大・理工)・Yossi Loya(Tel aviv uni)・日高道雄(琉球大・理)
1-34	14:00	スギノキミドリイシ(<i>Acropora formosa</i>)の分泌する粘液ムチンの化学構造解析	○速水悠・小栗聡介・山岡耕作・大谷和弘(高知大院・黒潮圏)
1-35	14:15	Role of coral mucus as a source of dissolved organic nitrogen (DON) in coral reef waters	○Fairoz M.F.M, Suzuki Y, Casareto B, Sylvain A, Irikawa A (Environment & Energy Systems, Shizuoka Univ.)

1-36	14:30	礁原～礁斜面を含めたサンゴ礁域の炭素循環	○中村隆志(北大・院理)・中森 亨(東北大・院理)
以降会場は本部町立中央公民館大ホール(自由集会を除く)			
15:00-17:40	公開ワークショップ		
18:00-	自由集会2(本部町立中央公民館大ホール)、自由集会3(琉球大学瀬底研究施設食堂)、自由集会4(琉球大学瀬底研究施設講義室)		

2009年11月28日(土)

【会場】本部町立中央公民館大ホール

講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
2-1	9:00	高知県竜串湾に生息する造礁性サンゴ骨格を用いた古環境復元	○山崎敦子(北大院理)・渡邊 剛(北大院理)・岨康輝(北大院理)・中地シュウ(黒生研)・山野博哉(国環研)・岩瀬文人(黒生研)
2-2	9:15	サンゴの化石から過去の気候を復元する	○浅海竜司(琉球大・超域)・井龍康文(名大・環境)
2-3	9:30	<i>Hippopus hippopus</i> (シャコガイ科シャゴウ)の骨格記録は古環境指標として有用である	○井龍康文(名古屋大・環境), Aubert, A.・Lazareth, C. E.・Cabioch, G.・Boucher, H. (Centre IRD France Nord)・Yamada, T.(東北大・理)・Farman, R. (Aquarium des Lagons, New Caledonia)
10:00	ポスター		
12:00	昼食		
13:30-16:30	シンポジウム1		
16:30-18:30	総会, 学会賞・川口賞授賞式および受賞講演		
19:00-	懇親会		

2009年11月29日(日)

【会場】本部町立中央公民館大ホール

講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
3-1	9:00	サンゴ礁の水柱・底質における褐虫藻の出現	○山下 洋(広大院生物圏)・鈴木 豪(西海水研石垣)・林原 毅(西海水研石垣)・小池一彦(広大院生物圏)
3-2	9:15	小笠原列島父島沿岸砂サンプルより分離された褐虫藻について	Shah-M M R・Shiniger-F・Reimer-JD・○須田彰一郎(琉球大)
3-3	9:30	様々な褐虫藻ストレインの光合成活性	○小池一彦(広大院生物圏)・山下 洋(広大院生物圏)

3-4	9:45	水温上昇はイシサンゴからの褐虫藻放出を誘発するか? :水槽実験と定量PCRによる検証	○松岡 友(広大院生物生産)・山下 洋(広大院生物圏)・由良顛子(広大院生物生産)・鈴木 豪(西海区水研石垣)・林原 毅(西海区水研石垣)・小池一彦(広大院生物圏)
3-5	10:00	<i>Stylophora pistillata</i> associated with different <i>Symbiodinium</i> clades are deep-divergence lineages : acclimatization or cryptic species?	○Sung-Yin Yang (Academia Sinica・Biodiversity Research Center). Chaolun Allen Chen(Academia Sinica・Biodiversity Research Center). Chien-Hsun Chen (National Taiwan Uni・Institute of Oceanography). Yi-Ting Lein(National Taiwan Uni・Institute of Oceanography). Nuwei Vivian Wei (National Taiwan Uni・Institute of Oceanography). Yaoyang Chuang (National Taiwan Uni・Institute of Oceanography). Chang-Feng Dai(National Taiwan Uni・Institute of Oceanography). William K. Loh (Uni of Queensland・Centre for Marine Studies). Affendi Yang-Amri (Uni of Malaya・Institute of Biological Sciences). Avigdor Abelson(Tel Aviv Uni・ Department of life science). Angus Macdonald (Oceanographic Research Institute). James Reimer(琉球大・理工). David Obura(CORDIO). Oliver Taylor(Uni of Warwick・Department of Biological Science). Charles Sheppard (Uni of Warwick・Department of Biological Science)
3-6	10:15	ムカデミノウミウシー褐虫藻共生系の系統地理変異	○依藤実樹子・東陽一郎・武島弘彦・馬淵浩司・渡邊俊樹・西田睦(東大・海洋研)
10:30		休憩	
3-7	10:45	ケニヤサンゴ年輪から復元された20世紀半ばのインド洋モードシフト	○中村修子(東大・理)
3-8	11:00	地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布の北限に及ぼす影響評価とその不確実性	○屋良由美子(北大地球環境)・藤井賢彦(北大地球環境)・山中康裕(北大地球環境)・岡田直資(北大地球環境)・山野博哉(国立環境研)・大島和裕(北大地球環境)
3-9	11:15	サンゴ礁保全の枠組みと日本における保全活動の状況	○中井達郎(国士舘大学・立正大学非常勤講師)
3-10	11:30	2004年から2008年のサンゴ礁の現状(モニタリングサイト1000事業によるモニタリング結果の紹介)	○木村匡(日本サンゴ礁モニタリングネットワーク)
3-11	11:45	2003-2009年石西礁湖の稚サンゴ加入状況について	○野島哲(九州大)、岡本峰雄(東京海洋大)、上野光弘(石西礁湖生態調査)
12:00		昼食	
3-12	13:00	Spatial distribution and temporal variation of <i>Terpios hoshinota</i> outbreak in Ludao(Taiwan)	○Shuli Chen, Chaoyang Kuo, Chaolun Allen Chen (Biodiversity Research Center, Academia Sinica)
3-13	13:15	高解像度航空写真を用いた野外調査:イソギンチャクの回復期の分布様式	○服部昭尚(滋賀大・教育)
3-14	13:30	Recoveries of degraded coral communities and possible involved functional groups.	○Hernyi Justin Hsieh(Penghu Marine Biology Research Center, Fishery Research Institute, COA, EY, Taiwan)・Chaolun Allen Chen(Academia Sinica・Biodiversity Research Center)
14:00-17:00		シンポジウム2	

ポスター発表(11月28日、10:00-11:00奇数番号、11:00-12:00偶数番号)

P-1	サンゴ礁物質循環モデルの開発～基本概念、構成要素とパフォーマンス	○渡邊敦(東工大・情報理工)・灘岡和夫(東工大・情報理工)・山本高大(東工大・情報理工)・前田勇司(東工大・情報理工)・田中泰章(東工大・情報理工)・宮島利宏(東大・海洋研)
P-2	The Spatio-Temporal Dynamics of Groundwater Discharge in Shiraho Reef Investigated using Electrical Resistivity Profiling and Radon Tracing	○Ariel C. Blanco(フィリピン大)・渡邊敦(東工大・情報理工)・灘岡和夫(東工大・情報理工)・陳祥光(東工大・情報理工)・本村裕基(東工大・情報理工)・前田勇司(東工大・情報理工)
P-3	竹富島コンドイビーチの有機汚濁	○田代豊・平安山良真・安里翔悟・神村賢次郎・古我知大・比嘉義郎(名桜大・国際)
P-4	Nitrogen fixation in fringing coral reefs: a comparison among different sub-environments	○CASARETO Beatriz E, NIRAULA Mohan, SUZUKI Toshiyuki, OHBA Hideo, AGOSTINI Sylvain, SUZUKI Yoshimi
P-5	沖縄サンゴ礁の砂地の基礎生産量	○田代 翼・Casareto Beatriz・Agostini Sylvain・入川暁之・鈴木 款(静大)
P-6	深海サンゴのフッ素含量と海水中の炭酸イオン濃度の関係について	○田中健太郎(琉球大・理工)・大出茂(琉球大・理)・藤岡義三(水産総合研究所)
P-7	サンゴ礁海水の浮遊有機物中に含まれる微量金属元素の粒径別濃集過程	○藤村弘行(琉球大・理)・Casareto BE(LASC & Shizuoka Univ.)・樋口富彦・白大烈・大森保(琉球大・理)・鈴木款(静岡大・創造科技院)
P-8	ラドン(²²² Rn)を用いた黒島サンゴ礁域への地下水流出特性の把握	○本村裕基・灘岡和夫・渡邊敦・陳祥光・山本高大(東工大・情報理工)・Ariel Blanco(UP)
P-9	石垣島宮良川河口域における塩分・リン酸塩プロットを規定する要因	○阿部和雄(西水研石垣)
P-10	漫湖干潟における堆積速度と重金属の経年変化	○鈴木秀隆(琉球大・理工)・棚原朗(琉球大・機器分析支援センター)
P-11	那覇沖チービシ, ルカン礁と, 西表島北東バラス島における州島形成要因	○青木健次(東京大・理)・中村修子(東京大・理)・茅根創(東京大・理)・福島朋彦(東京大・海洋アライアンス)・磯部雅彦(東京大・新領域)
P-12	硬骨海綿骨格中の鉛同位体を用いた海洋鉛放出源の時系列変動	大森一人・○渡邊剛(北大院理)・谷水雅治(JAMSTEC)・松岡淳(株マリンワークスジャパン)・井上麻夕里(東大海洋研)・白井厚太郎(東大理)

P-13	Preliminary Results to Determine MPAs Sites by Using High Resolution Nutrient-Ocean Circulation Coupled Model around 'Wallace Line' Regions.	○A. R. Kartadikaria(東工大・情報理工)・灘岡和夫(東工大・情報理)・宮澤泰正(Jamstec)・笹井義一(Jamstec)
P-14	Capacity Enhancement Project for Coral Reef Monitoring (PICRC/JICA) aims better management of Marine Protected Areas in Palau and other Micronesian islands through collaboration with Micronesia Challenge	○L. A. Isechal (PICRC)・Y. Golbuu (PICRC)・S. Nakaya (PICRC)・C. Mersai (MC)
P-15	石垣島白保の定測線における11年間のサンゴ群集被度変化	○波利井佐紀(東大・理)・井手陽一(海洋プランニング株)・本郷宙軌・茅根 創(東大・理)
P-16	石垣島白保サンゴ礁における2007年白化後のサンゴ群集の変遷	○佐川鉄平・○鈴木智子・前川聡(WWFジャパン)
P-17	石垣島白保の永久方形区内での造礁サンゴ群集の経年変化	○杉原 薫・小野由樹子(福岡大・理)
P-18	阿嘉島周辺のオニヒトデ被害と駆除活動の効果	○谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)
P-19	四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入について 2004-2009	○長谷川亮太(東海大・院)・久保沙紀子(東海大・海洋)・沼津雅憲(東海大・海洋)・岩瀬文人(黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)・横地洋之(東海大学海洋研究所)
P-20	Reef-building corals migrate into marginal high-latitude region: A response to climate change?	○Mei-Fang, Lin(Academia Sinica・Biodiversity Research Center)・Chaolun Allen Chen(Academia Sinica Biodiversity Research Center)
P-21	小サンゴ群体と小型海藻の基盤を巡る競争	○玉井玲子(琉球大・院・理工)・酒井一彦(琉球大・熱生研)
P-22	奄美大島のクロマグロ生簀羅ープ上に形成されたサンゴ群落	○日比野紘大(近畿大・農)・向井良夫(近畿大・水産養殖種苗センター)・畑啓生(近畿大・農)
P-23	静岡県沼津市内浦江梨地先における造礁サンゴ類の群集構造	○日越貴大(東海大大学院)
P-24	石西礁湖における水深40m以深のサンゴ分布について	○古島靖夫(海洋研究開発機構)・Marc Humblet(東大・海洋研)・山本啓之(海洋研究開発機構)・徳山英一(東大・海洋研)・宮城博(国際海洋環境情報センター)・丸山正・藤倉克則(海洋研究開発機構)
P-25	The deep photosynthetic reef ecosystem in the Ryukyu Islands	○Humblet, M., Furushima, Y., Yamamoto, H., Maruyama, T., Iryu, Y., Tokuyama, H.
P-26	Impact of sedimentation from land-use change on coral reef communities	○G. Merea (PICRC)・K. Fabricius (AIMS)・A. Merea (PICRC)・S. Nakaya (PICRC)・Y. Golbuu (PICRC)
P-27	Nutrient enrichment causes by marine cage culture and its impact on the benthos composition in the subtropical coral reefs in the Penghu Islands, Taiwan	○Yuan Chao Angelo, Huang (AInstitute of Oceanography, National Taiwan University), Chaolun Allen Chen (Academia Sinica Biodiversity Research Center)

P-28	トカラ火山列島硫黄島島における酸性・高温下での造礁サンゴからソフトコーラルへの群集シフト	○井上志保里(東大・理)・東京大学海洋調査探検部硫黄島島遠征隊・茅根創(東大・理)
P-29	酸性化海水がココビミドリイシ <i>Acropora digitifera</i> の石灰化に与える影響ー精密CO ₂ 制御装置を用いた近未来予測	○大木駿(琉大・理工)・井口亮(琉大・熱生研)・井上麻夕里(東大・海洋研)・小崎沙織(東大・海洋研)・中村崇(九大・理)・酒井一彦(琉大・熱生研)・鈴木淳(産総研)
P-30	酸性化海水がサンゴ骨格の微量元素比に与える影響	○小崎沙織(東大・新領域)・井上麻夕里(東大・海洋研)・大木駿(琉大・理工)・井口亮(琉大・熱生研)・中村崇(九大・理)・酒井一彦(琉大・熱生研)・鈴木淳(産総研)・川幡穂高(東大・海洋研)
P-31	海洋酸性化と温暖化がクマノミ類の初期発生に及ぼす影響	○福田適子(長大院・生産)・栗原晴子(琉大・超域)・石松惇(長大・海セ)
P-32	石垣島白保サンゴ礁における群集スケールでの酸性化応答～実験, 現場実験, 観測の比較～	○山本将史・山内大輝・本郷宙軌・茅根創(東大・理)・渡邊敦(東工大)・所立樹・加藤健・根岸明・野崎健(産総研)
P-33	亜熱帯海草藻場における魚類群集と葉上性動物群集	○新垣誠司・下田徹・山田秀秋(西水研石垣)
P-34	サンゴ礁生物群集の環境傾度分析	○仲宗根一哉(沖縄県・衛環研)・大代哲(株)沖縄分析セ)・金城孝一・大城洋平(沖縄県・衛環研)
P-35	沖縄島周辺離島におけるサンゴの現状ー伊平屋島、伊是名島、久米島、渡名喜島及び粟国島ー	○小笠原敬・山川英治・長井隆・長田智史(沖環科)
P-36	沖縄島西海岸の都市域に隣接するサンゴ礁の現況とその変遷	○金城孝一(沖縄県衛生環境研究所)・灘岡和夫(東京工業大学)・上野光弘(石西礁湖サンゴ礁調査)・仲宗根一哉(沖縄県衛生環境研究所)・渡邊康志(GIS沖縄研究室)
P-37	2009年小笠原諸島におけるサンゴの大規模白化(速報)	○佐々木哲朗・鈴木創・堀越和夫(小笠原自然文化研究所)
P-38	広域サンゴモニタリングのための船舶搭載型イメージング蛍光ライダーの開発	○篠野雅彦・田村兼吉・樋富和夫・桐谷伸夫・山之内博・松本陽(海技研)
P-39	蛍光タンパク質の特性を利用したサンゴモニタリング手法	○松本陽・田村兼吉・樋富和夫・桐谷伸夫・山之内博・篠野雅彦(海技研)・荒川久幸(海洋大・海洋科学)
P-40	GISを用いた南西諸島における生物多様性優先保全地域の抽出	○安村茂樹(WWFジャパン)・島崎彦人(国立環境研)・柴田剛(エアロフォトセンター)・中井達郎(国土館大学)

P-41	リーフチェック10年	○土川 仁(コーラル・ネットワーク)・宮本育昌(コーラル・ネットワーク)・菅原正臣(コーラル・ネットワーク)・池田慎也(コーラル・ネットワーク)・伊藤健(コーラル・ネットワーク)・高井 航(コーラル・ネットワーク)・富弥 充(コーラル・ネットワーク)
P-42	空中写真分析による石垣島周辺のサンゴ礁海底被覆と土地利用の変遷評価: その2	○渡邊康志(GIS沖縄研究室)・灘岡和夫(東工大)
P-43	Spatial dependence analysis of coral bleaching on water temperature and bathymetry using Quick bird data for Ishigaki Island	○Ankita Dadhich(東工大・情報理工)・灘岡和夫(東工大・情報理工)・山本高大(東工大・情報理工)
P-44	Physiological differences in the coral <i>Stylophora pistillata</i> sampled from the North and South of Taiwan	○Keshavmurthy S, Hsu CM, Wang, JT, Chen A(Academia Sinica・Biodiversity Research Center)
P-45	ミドリイシサンゴ初期ポリプにおける骨格形成過程	藤原英史((株)ドキュメンタリーチャンネル)・松島夏苗・○服田昌之(お茶大)
P-46	ストレス条件下で形成されたミドリイシ属サンゴ一次ポリプ骨格の微細構造	○豆野昂志(琉球大・理)・波利井佐紀(東京大・理)・湯山育子・日高道雄(琉球大・理)
P-47	栄養塩(硝酸態)のサンゴ共生体に与える影響	○城間和代(静大)・鈴木款(静大)・石川義朗(環境科技研)・Beatriz Casareto(静大)
P-48	海域環境中のサンゴのストレス応答の季節変動	○大城洋平・金城孝一・仲宗根一哉・城間博正(沖縄県衛生環境研究所)
P-49	ウスエダミドリイシ幼生と一次ポリプのストレス応答性遺伝子の解析	○湯山育子(琉球大・理)・波利井佐紀(東京大・理)・日高道雄(琉球大・理)
P-50	サカサクラゲ <i>Cassiopea andromeda</i> の生活環各ステージ間のテロメア長比較	○大慈彌みち子(琉球大・理工)・日高道雄(琉球大・理)
P-51	イワスナギンチャク(<i>Palythoa tuberculosa</i>)の精子形成と初期発生過程の形態学的観察	○広瀬慎美子(琉球大・理工)・小淵正美(琉球大・ライジングスタープログラム)・James D. Reimer(琉球大・ライジングスタープログラム & JAMSTEC)
P-52	造礁サンゴにおける卵黄タンパク質の局在	○中島祐一(琉球大・熱生研)・諏訪僚太(京大・瀬戸臨海実験所)・中村將(琉球大・熱生研)
P-53	琉球列島産宝石サンゴ類の生殖腺観察	○野中正法(沖縄美ら海水族館)・中村 將(琉球大学熱帯生物圏研究センター)
P-54	石西礁湖にサンゴの病気が蔓延するまで	○上野光弘(石西礁湖サンゴ礁調査)・木村匡((財)自然環境研究センター)・下池和幸((財)自然環境研究センター)・砂川政信(八重山漁協)
P-55	White syndromeの症状の進行とサンゴ体内の素過程の変化	○鈴木利幸(静岡大・創造科学)・森啓嘉(静岡大・院・理)・平川徹弥(静岡大・理)・吉永光一(静岡大・創造科学)・鈴木 款(静岡大・創造科学)

P-56	ハマサンゴ属マイクロアトールの異質パッチ: 病変・同種変異・異種の検討	○松島夏苗・服田昌之(お茶大)
P-57	オオスリバチサンゴのホワイトスポットシンドローム部分に観察される細菌について	○山城秀之・磯村尚子・池松真也(沖縄高専生物資源)
P-58	Genotyping the <i>Symbiodinium</i> communities in healthy and diseased <i>Montipora capitata</i> from Kaneohe Bay	○牧野梓(慶應・環情)・Michael Stat (HIMB/SOEST, Univ. Hawaii)・Ruth Gates (HIMB/SOEST, Univ. Hawaii)
P-59	Long-term <i>Symbiodinium</i> community dynamics of <i>Isopora palifera</i> in Taiwan.	○Chia-Min Hsu(Academia Sinica・Biodiversity Research Center)・Chaolun Allen Chen(Academia Sinica Biodiversity Research Center)
P-60	温帯域の造礁サンゴに内部共生する褐虫藻タイプ”C”のITSを用いた遺伝的解析	○Lien Yi-Ting(京大・瀬戸臨海)・山下洋(京大・舞鶴水産)・深見裕伸(京大・瀬戸臨海)
P-61	<i>Acropora tenuis</i> の褐虫藻獲得にはレクチンが関与する	○谷本典加・神保充(北里大・海洋)・山下洋・小池一彦(広大・生物圏)
P-62	サンゴ寄生性無腸類ワミノアの共生藻は垂直伝搬する	○彦坂智恵・小池香苗(広島大・自然セ)・山下洋(広島大・院生物圏)・彦坂暁(広島大・院総合)・小池一彦(広島大・院生物圏)
P-63	異なる温度条件下での培養褐虫藻6株の成長速度、運動性、光合成活性	杉山麻美・湯山育子・○日高道雄(琉球大・理)
P-64	サンゴから放出される褐虫藻量は時期によって変化するのか: 同一サンゴ群体からの追跡	○山下 洋(広大院生物圏)・鈴木 豪(西海水研石垣)・林原 毅(西海水研石垣)・松岡 友(広大生物生産)・小池一彦(広大院生物圏)
P-65	シゲミカトサカ レクチンの褐虫藻への影響の定量化	○神保 充, 墨田裕也(北里大・海洋), 小池一彦(広大・生物圏)
P-66	コユビミドリイシにおける光合成・石灰化への環境影響	○中村 崇(九大・理)・山崎征太郎・YeongShyanYuen・山崎秀雄(琉大・理)・野島 哲(九大・理)
P-67	Survival dynamics of reef coral larvae with special consideration of larval size and the genus <i>Acropora</i>	○Yoko Nozawa (Academia Sinica) and Nami Okubo (Kyoto U・Seto MBL)
P-68	スリバチサンゴ属におけるオオスリバチサンゴの特異性	○北野裕子(京大・瀬戸臨海)・野村恵一(串本海中公園)・深見裕伸(京大・瀬戸臨海)
P-69	ヒラタオトゲキクメイシとヒメオトゲキクメイシの分類学的研究	○座安佑奈(京大理学研究科・瀬戸臨海)・野村恵一(串本海中公園)・深見裕伸(京大・瀬戸臨海)
P-70	キクメイシ類における隠蔽種の存在の可能性	○深見裕伸(京大・瀬戸臨海)
P-71	日本産 <i>Favia</i> の骨格形態と遺伝子の多様性	○永田俊輔(福岡大・院理)・杉原 薫(福岡大・理)・深見裕伸(京大・フィールド科学教育研究センター)

P-72	沖ノ鳥島産稚サンゴの移植1年間のモニタリング結果	○北野倫生・三宅崇智・山本秀一(エコー)・安藤 亘・石岡 昇(水産土木建設技術センター)・森 健二・中村誠(水産庁)
P-73	魚類による移植サンゴへの食害状況について	○三宅崇智・北野倫生・山本秀一(エコー)・安藤 亘・石岡 昇(水産土木建設技術センター)・森 健二・中村誠(水産庁)
P-74	サンゴ増殖用電着基盤の構築	○木原一禎(三菱重工鉄構エンジニアリング(株)), 鯉淵幸生(東京大大学院), 谷口洋基(阿嘉島臨海研究所), 近藤康文(株)シーファーム), 山本悟(日本防蝕工業(株))
P-75	サンゴ移植活動	○中村明毅(沖電開発(株))
P-76	サンゴ種苗生産の現状と課題	○中村良太・石岡 昇(水産土木センター)・森 健二・中村 誠(水産庁)
P-77	移植サンゴの成長と魚類の棲み込み	○西平守孝(海洋博記念公園管理財団)
P-78	格子状基盤を使用したサンゴ増殖技術の開発ー1. サンゴ幼生の最適な種付け(放流)密度の検討ー	○林原 毅(西水研石垣)・鈴木 豪(西水研石垣)・鈴木 清(ダイクレ)・冢久侑大(ダイクレ)・新垣誠司(西水研石垣)・渋谷拓郎(養殖研)
P-79	サンゴ移植:群集修復の目標と移植種の選択	○向草世香(JSTさきがけ)・巖佐庸(九大・理)
P-80	NPOによるサンゴ有性生殖法を用いた増殖及び移植の試み	○山里祥二(NPO法人コーラル沖縄)
P-81	那覇港・石垣港・平良港の港湾整備におけるサンゴ群体移植技術の取り組み	前幸地紀和・與那嶺和史・島田 雅志(沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課)・津田修一(那覇港湾・空港整備事務所)・嶋倉康夫(石垣港湾事務所)・小早川弘(平良港湾事務所)・小島栄・坂井隆行(財団法人港湾空間高度化環境研究センター)・山本秀一・○岩村俊平(株式会社エコー)
P-82	「有性生殖によるサンゴ増殖の手引き」について	○中村誠・森健二(水産庁)・中村良太・安藤亘・石岡昇(水産土木センター)・山本秀一・北野倫生(エコー)・綿貫 啓(アルファ水工)・青田 徹(不動テトラ)・三上信雄(水工研)

P-83	沖縄近海のパヤオに付着した造礁サンゴ類およびサンゴに共生するカニ類の報告	○東地 拓生・甲斐 清香・金谷 悠作・山本 広美(沖縄美ら海水族館)
P-84	サンゴ礁に生息するオトヒメエビの行動周期における光の影響	○江阪有里子(琉球大・理工)
P-85	沖縄本島におけるハブクラゲの分布状況および飼育下での繁殖	○伊芸 元・柿崎 智弘(沖縄美ら海水族館)・金本 昭彦・大場淳子(オーピーバイオファクトリー)
P-86	サンゴ礁洞穴に生息する未記載スナギンチャクの分類及び繁殖生態に関する研究	○伊礼由佳(琉球大・理工)・James Davis Reimer(琉球大・ライジングスター)
P-87	Genetic connectivity of coconut crab (<i>Birgus latro</i>) in Indo-West Pacific Ocean.	○Chai-Hsia Gan and Chaolun Chaolun Allen Chen(Academia Sinica・Biodiversity Research Center)
P-88	生息環境変化がミツボシキウセンの脳内モノアミンに及ぼす影響	○柴田より子(琉球大・理工)・内村美幸(琉球大・理工)・許成杓(琉球大・理工)・竹村明洋(琉球大・熱生研)
P-89	サンゴ礁魚類の脳内光受容体-クローニングと発現解析-	○竹内悠記(琉球大・理工)・朴龍柱(済州大・海洋)・許成杓(琉球大・理工)・竹村明洋(琉球大・熱生研)
P-90	Importance of environmental factors in the reproductive activities of a tropical damselfish <i>Chrysiptera cyanea</i> during different phases of reproductive season	○Mohammad Abu Jafor Bapary (University of the Ryukyus), Akihiro Takemura (University of the Ryukyus)
P-91	雌性先熟魚ミツボシキウセン <i>Halichoeres trimaculatus</i> の性転換過程におけるDMRT1発現変化	○野津 了(琉大院・理工)・堀口 涼(基生研)・村田良介(琉大院・理工)・小島 豊(OIST)・中村 将(琉大・熱生研)
P-92	海洋博覧会記念公園海域における海藻・海草類の生息状況	○金谷 悠作(沖縄美ら海水族館)・岩永洋志登・岩橋 浩輔(沖縄環境分析センター)・山本 広美(沖縄美ら海水族館)
P-93	日本海に生息する造礁サンゴ-観光資源としての価値と隠岐郡海士町における環境保全活動-	城之内直也(松島ダイビング推進協議会 事務局 海士ダイビングサービス)・○神木隆行(プラス事業海士町推進協議会)
P-94	大洋州の海と人との共生に向けて—沿岸資源保全・管理に対するJICAの取り組み—	○田村 實(JICA)・中谷誠治(JICA)・杉山俊士(JICA)
P-95	沖縄県のレジャーダイビングに関するサンゴ礁保全意識調査	○豊島淳子(東工大)・横井謙典(沖縄県ダイビング安全対策協議会)・灘岡和夫(東工大)
P-96	サンゴ礁ネットワークWEBシステムを利用した情報発信	○仲村亮(MWJ)・菊池絵美(MWJ)・澤野健三郎(MWJ)・饒辺寿一(MWJ)・廣瀬重之(JAMSTEC)
P-97	都市部でのサンゴ礁保全の普及啓発事例	○宮本育昌・小笠原啓一・手塚幸恵・堀米真樹(CN)

P-98	日本全国みんなで作るサンゴマッププロジェクト:2年間の成果とこれから	○浪崎直子・山野博哉・鈴木倫太郎(国立環境研)・大堀健司(エコツアーふくみみ)・翁長均(ネイチャーワークス)・岸本多美子(月刊ダイバー)・佐川鉄平・町田佳子・安村茂樹(WWF ジャパン)・佐藤崇範(環境省モニタリングセンター)・嶋谷隆(マリンダイビング)・土川仁・宮本育昌(コーラル・ネットワーク)・春川京子(セブンシーズ宮古島)・平手康市(沖縄県企画部水産海洋研究センター)・古瀬浩史(自然教育研究センター)・鋒山謙一(ルーツ&シューツおきなわ)・山中康司(NPO法人日本安全潜水教育協会)
P-99	サンゴの移動飼育水槽を用いた北海道における環境教育の試み	○池田昌隆・渡邊剛(北海道大学大学院理学院)・山崎敦子・河村卓(北海道大学大学院理学院)
P-100	サンゴ礁保全のための環境教育プログラム「この先海です。プロジェクト」について	○今宮則子(海の自然史研究所)・藤田喜久(琉大/海の自然史研究所)・平井和也(海の自然史研究所)
P-101	ツバルにおけるハマサンゴ年輪の $\delta^{15}\text{N}$ 変動と人為影響	○細井豪・中村修子・茅根創(東京大・理)・山野博哉(国立環境研)・高畑直人・佐野有司(東京大・海洋研)
P-102	石垣市白保周辺の造礁サンゴパッチ分布パターン	○中森亨(東北大・院理・地学)・中村政彦(東北大・院理・地学)・前川 聡(WWF ジャパン)・鈴木倫太郎(国立環境研究所)・長谷川均(国士舘大学)
P-103	高知県西南部における造礁サンゴの産卵パターン	目崎拓真(黒潮生物研究所)・林徹・宮本麻衣・佐野美月(竜串観光振興会)・中野正夫(シーホース)・中地シュウ(黒潮生物研究所)・岩瀬文人(黒潮生物研究所)
P-104	サンゴの褐虫藻に及ぼす温度変化の影響	○森 啓嘉(静岡大・理)
P-105	<i>Briareum</i> 属(花虫綱・八放サンゴ亜綱)に見られる形態バリエーションについての分類学的検討	○宮崎悠(琉球大・理)・James Davis Reimer(琉球大・ライジングスター)
P-106	Uses of a new generation aromatase inhibitor on sex differentiation in gonochoristic fish	○Sabina Ruksanao, Narayan P. Pandit, Masaru Nakamura (Sesoko Station, Univ. Ryukyus)
P-107	Heat-induced gonadal sterility in Nile tilapia (<i>Oreochromis niloticus</i>)	○Narayan P. Pandito, Sabina Ruksana, Masaru Nakamura (Sesoko Station, Univ. Ryukyus)
P-108	Iodothyronine Deiodinases cloned in Golden rabbitfish, <i>Siganus guttatus</i> , a reef fish	○Wambiji N, Takemura A, Park YG, Park J (Sesoko Station, Univ. Ryukyus), Se-Jae Kim (Jeju National Univ.), Hur S, Yuki T (Sesoko Station, Univ. Ryukyus)
P-109	サンゴ礁保全思想は、本部からか	○目崎茂和(南山大学・総合政策学部)